

【実践事例②】

《第五・六学年》

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

「修飾・被修飾の関係について理解するために」

一 学習材

「修飾語マスタープリント くくわしく説明する言葉名人になろう」

二 ねらい

修飾・被修飾の関係について正しく理解する。

三 活動の流れ（全二時間）

第一次 修飾語について学習する。

① 修飾語の役割について知り、練習問題に取り組む。

練習用の学習材（ロイロノートで配布・学習）を使って、修飾語を正しく理解する。



学習プリントは、ロイロノートで児童に配布し、書き込む形で実施した。

児童は、タッチペンを使って線を書き込んでいった。プリントに書き込むことに比べて、書いた線を簡単に消すことができたり、ペンの色を変えることができたりしたので、学びの跡が見やすく分かりやすかった。

修飾語マスタープリント くくわしく説明する言葉名人になろう

名前

白い雲がうかぶ。の「白い」は、どんな雲であるかを説明しています。ふわふわと雲がうかぶ。の「ふわふわ」は、どのようにうかぶかを説明しています。このように、「どんな」「どのように」など、くわしく説明する言葉を修飾する言葉といえます。

◎次の文で、線の言葉を修飾しているのは、どの言葉ですか。例にならってその言葉に線を引きましょう。

(例) 小さい子どもが、遊んでいる。

① 赤い花が、庭に咲く。

② この字は、とても美しい。

③ 白い紙に、絵を描く。

④ さわやかな空気に包まれる。

◎次の文で、線の言葉はどの言葉を修飾していますか。例にならってその言葉に線を引きましょう。

(例) 小さい子どもが、遊んでいる。

① きれいな花が、一面に広がる。

② その料理は、とてもおいしい。

③ 星が、きらきらと輝く。

④ ボールが、遠くまで飛んだ。

③のように、一つの被修飾語に対して修飾する言葉が複数あるものは、間違える児童もいたので、全体で立ち止まって考え直した。

修飾語の役割を忘れていて、自信のない児童もいたが、説明するほとんどの児童が思い出すことができた。少ない文節の中で、修飾と被修飾の関係を見付けることは、おおむねできていた。

② 文節の多い文の修飾・被修飾の関係について練習問題に取り組み、練習用の学習材（ロイロノート）を使って修飾語に慣れる。

修飾語マスタープリント くわしく説明する言葉名人になろう！

名前

白い雲がうかぶ。の「白い」は、どんな雲であるかを説明しています。ふわふわと雲がうかぶ。の「ふわふわ」とは、どのようにうかぶかを説明しています。このように、「どんな」「どのよう」などで、くわしく説明する言葉を修飾する言葉といえます。

◎次の文で、線の言葉を修飾しているのは、どの言葉ですか。例にならってその言葉に線を引きましょう。

(例) 近くの公園で、小さい子どもが、たのびん遊んでいる。

① 庭に、赤いチューリップが、きれいに、咲いている。

② 先生が、書いた、字は、とても、美しい。

③ 机の上にある、白い紙に、くるくると、円を描く。

④ 部屋のまどを、開けると、さわやかな、空気に、包まれた。

◎次の文で、線の言葉はどの言葉を修飾していますか。例にならってその言葉に線を引きましょう。

(例) 近くの公園で、小さい子どもが、たのびん遊んでいる。

① 庭一面に、黄色くて、きれいな、花が、広がっている。

② お店で、出された、料理は、とても、おいしかった。

③ 暗い、夜空に、星が、きらきらと、輝く。

④ 空に、兄の、投げた、ボールが、飛んでいった。

文節が多くなったり、係り方が複雑になったりすると、見落としてしまう児童も多かったため、再度問題を読みながら、丁寧に解き直した。また、一つの被修飾語に対して、複数の修飾語に係る場合もあることを押さえた。

第二次 学習したことをもとに修飾・被修飾の関係にある短文を作る。

くわしく説明する文を自分で書き、友達とクイズを出し合うことで、修飾語について定着を図る。

【手順】

- ① ロイロノートでイラスト付きワークシートを用意。
- ② 絵を見て、修飾語を用いた様子を表す文を作る。
- ③ 被修飾語に線を引き、修飾語がどれか問題を出す。
- ④ 出題された児童は、文を読み修飾語に線を引く。

◎次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。
●リスがきりかぶの上で、木の実を食べています。



◎次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。
●子犬がじつと花を見つめている。



◎ 次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。
● リスが切り株の上に座っています。



問題を出す児童は、被修飾語に波線を、解答する児童は修飾語に直線を引くようにした。

問題を出す児童は、自分で修飾・被修飾の関係が理解できている必要があるため、出題する児童も、考えながら問題作りを取り組んだ。

友達に問題を出したり友達の作った問題を解いたりすることを通して、相手意識をもちながら楽しく取り組んでいた。
練習問題を解いた後に自分で作文する活動を行うことで、児童の理解がより深まったように感じられた。



四 総括

今回の取組を通して、修飾語を理解し、文節の多い文の修飾・被修飾の関係にも気付くことができるようになった。最初、修飾語について説明した際には、修飾語や被修飾語について忘れていたり自信がなかったりした児童が多かったが、練習問題をした時には、ほとんどの児童が修飾語を思い出し、主体的に学習に取り組むことができた。また、ロイロノートを使って問題を解いていったことで、ペンの色を使い分けられたり、間違ってもすぐに書き直せたりすることで、学習がスムーズに進められた。

その後、文節の多い学習プリントで練習を繰り返し、修飾・被修飾の関係に慣れ親しむことで、第二次のクイズの出し合いでは、楽しみながら自ら修飾語を考え、問題を作ることができていた。問題作りを通して、主語と述語についての理解も深まり、修飾語がどこに係るのかという修飾・被修飾の関係にも気を付けて、文の構成を理解することができたと考える。

言語事項に関する単元だけでなく、普段から言葉の組み立てに着目して教科書の本文を読んでみるなど、日頃の授業に文法の学習を取り入れることで、主語や述語、修飾語といった言葉同士の関係について、慣れ親しめるのではないかと考える。

白い雲がうかぶ。の「白い」は、「どんな」雲であるかを説明しています。
ふわふわと雲がうかぶ。の「ふわふわと」は、「どのように」うかぶかを説明しています。
「どんな」「どのように」などくくわしく説明する言葉を修飾する言葉といます。

◎次の文で、
線の言葉を修飾しているのは、どの言葉ですか。例にならってその

言葉に _____ 線を引きましょう。

(例) 小さい子どもが、遊んでいる。

① 赤い花が、庭に咲く。

② この字は、とても美しい。

③ 白い紙に、絵を描く。

④ さわやかな空気に包まれる。

◎次の文で、
線の言葉はどの言葉を修飾していますか。例にならってその言葉に

_____ 線を引きましょう。

(例) 小さい子どもが、遊んでいる。

① きれいな花が、一面に広がる。

② その料理は、とてもおいしい。

③ 星が、きらきらと輝く。

④ ボールが、遠くまで飛んだ。

白い雲がうかぶ。の「白い」は、「どんな」雲であることを説明しています。
ふわふわと雲がうかぶ。の「ふわふわ」は、「どのように」うかぶかを説明しています。
「どんな」「どのように」などくわしく説明する言葉を修飾する言葉といいます。

◎次の文で、
線の言葉を修飾しているのは、どの言葉ですか。例にならってその

言葉に _____ 線を引きましょう。

(例) 近くの公園で 小さい子どもが たくさん遊んでいる。

①庭に 赤い チューリップが きれいに 咲いている。

②先生が 書いた 字は とても 美しい。

③机の 上にある 白い 紙に くるくると 円を 描く。

④部屋の まどを 開けると さわやかな 空気に 包まれた。

◎次の文で、
線の言葉はどの言葉を修飾していますか。例にならってその言葉に

_____ 線を引きましょう。

(例) 近くの公園で 小さい子どもが たくさん遊んでいる。

①庭一面に 黄色くてきれいな 花が 広がっている。

②お店で 出された 料理は とても おいしかった。

③暗い 夜空に 星が きらきらと 輝く。

④空に 兄の 投げた ボールが 飛んでいった。



● ◎ 次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。

● ◎ 次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。





- ◎ 次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。



- ◎ 次の絵の様子を表す文を一文書きましょう。